

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

小学4年生

学校	教科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江小	国語	○ 漢字の読みは正しくできている。 ○ 内容をよく聞き取り、話し手の工夫や意見の共通点を捉えることができています。 ● 主語と述語との関係や修飾語についての理解が十分ではない。 ● 文章を書く問題では、提示された条件に合わせて書く力に課題がある。	・ 漢字の読み書きや言葉の理解の定着を図るために、漢字のミニテストや読書活動を継続して行う。 ・ 授業の中で使う言葉や文字数を指定し、条件に合わせて文章を書く活動を積極的に行う。
	算数	○ 図形の性質を理解し、正しく作図することができている。 ○ 小数の足し算や引き算などの基本的な計算問題は、正確に解けている児童が比較的多い。 ● 計算のきまりを理解し、正確に計算する力に課題がある。 ● 既習内容を活用して、順序立てて説明する力に課題がある。	・ 授業において、式や計算の意味、考え方を相手に分かりやすく説明する活動を積極的に行う。 ・ ドリルやミニテストを継続して行い、基礎・基本の充実を図る。
金生第一小	国語	○ 漢字を正しく読んでいる。 ○ 話の内容を正確に聞き取り、話し手が伝えたいことの中心や工夫を捉えている。 ● 説明文の情報と情報の関係を理解し、理由や事例を挙げることが難しい。 ● 主語と述語の関係や連体修飾語についての理解が十分ではない。 ● 指定された条件の中で、自分の考えを整理し、文章を書くことが難しい。	・ 小テスト等の漢字学習に丁寧に取り組み、今後も基礎学力の定着を図る。 ・ 段落の役割について考えたり、文中の情報と情報を区別したりしながら、書く活動に取り組ませる。 ・ 書いた文章を読み返すときに、言葉と言葉、文と文のつながりに注目して、分かりやすい文章を意識させる。 ・ 段落など文章構成のきまりについて理解を深めたり、指定されたテーマの文を書いたりすることで、作文能力の向上を図る。
	算数	○ 角の大きさや垂直・平行の仕組みについて理解している。 ○ 2桁÷1桁の余りの処理をして正しい答えを求めることができる。 ● 四則混合で、() を用いた式の計算順序の理解や、分配法則を用いた計算の理解が十分ではない。 ● 四角形の性質を理解し、コンパスを使って作図する技能に課題が見られる。 ● 億や兆などの大きな数を数字で表したり、漢数字で表したりすることが難しい。	・ 教科書やノートを見返し、丁寧に問題に取り組ませることで、計算能力を向上させる。 ・ 三角定規や分度器、コンパスなどを使った作図の練習を行い、作図の手順を身に付けるとともに、作図の技能の定着を図る。 ・ 数直線や図、位取り表などを使うことにより、桁数の大きな数の概念を理解できるよう繰り返し練習を行う。
金生第二小	国語	○ 話合いの内容を聞き取り、伝えたいことを理解し、意見の共通点に気付くことができています。 ○ 行動を表す語彙が増え言い換えることができています。 ● 既習の漢字を書くことと物語の内容を読み取ることに課題がある。 ● 指定された条件に沿って文章を書くことに課題がある。	・ 該当学年以外の既習漢字も「今日の漢字」や「はげみの時間」の問題に取り入れ、繰り返し復習の機会を作る。 ・ 教材に関連した読書や週末の読書を継続し、黙読だけでなく、音読する時間も設定する。 ・ キーワードや文字数など条件を与えて短い文章を書く活動を継続して行う。
	算数	○ 計算のきまりを使って四則混合の式の計算ができている。 ○ 角の大きさを求めることができています。 ● 大きい数の表し方や読み取りに課題がある。 ● 問題の中で、一つ分を見付け、グラフを書いたり、数量関係を求めたりすることに課題がある。 ● 図形の特徴を理解して、作図したり説明したりすることに課題がある。	・ 「はげみの時間」や授業の始め、家庭学習で既習事項の復習を行い、基礎・基本の定着に努める。 ・ コンパスを使った作図の問題に取り組んだ後、作図した図形を確かめ合う活動を行うことで、図形の特徴を理解できるようにする。 ・ 数量や図形についての概念や性質などの理解が深まるよう、具体物を使った操作活動と抽象的な思考を相互に行いながら、自分で考えたことを説明する場を設定する。

上 分 小	国 語	○ 漢字の読み書きは、全国平均を上回り、力が付いています。 ○ 話の内容を聞き取り、正確に理解することができています。 ● 主語、述語、修飾語の使い方、ことわざの意味など、言葉の学習が不十分です。 ● 説明文を読み、段落相互の関係を捉えたり、中心となる語や文を要約したりすることに課題が見られます。 ● 条件に合わせて自分の考えを文章にすることに課題があります。	・ 漢字中心の小テストに主語、述語、修飾語、ことわざなどの学習を取り入れ、繰り返し、基礎的な力を定着させていきます。 ・ 説明文を要約する機会を増やし、文章の大まかな内容や中心となる語や文について理解できるようにします。 ・ 事実と自分の考えを区別しながら、条件に合わせて、文章を書く学習を今後も続けていきます。
	算 数	○ 小数の仕組みや計算の仕方が身に付き、計算の方法を説明することができます。 ○ 垂直・平行や、四角形の性質、折れ線グラフの読み取りを理解しています。 ● () を用いた計算を正確にすることに課題があります。 ● 基準量を求める、簡単な割合の理解に課題があります。 ● 概数の理解はできているが、概算など、生活の中で生かすことに課題があります。	・ 計算のきまりについて再度確認し、小テストなどで継続して復習していきます。 ・ 基準量をはっきりさせながら、割合について復習を行い、文章問題を図に表したり、立式したりすることで理解できるように指導します。 ・ 授業以外の生活の中で、概数を使って考える機会を多く取ります。
南 小	国 語	○ 第3、4学年に配当されている漢字の読み書きができています。 ○ 説明文の内容を読み取ることができています。 ● 説明文の内容を要約することに課題があります。 ● 伝わりやすい文章を構成することに課題があります。 ● 文章を、テーマに沿って指定された形式で書くことが難しいです。	・ 朝のドリル学習に説明文を読み、要約をする練習を繰り返し行い、定着を図ります。 ・ 授業中に書いた文章が、読み手に伝わりやすい文章かどうかを考えさせることで、子供自身が吟味し、修正する習慣を付けていきます。 ・ キーワードを指定し、自分の言葉で文章を書くことを朝のドリル学習や授業の中で取り入れ、練習します。
	算 数	○ 小数の四則演算や割り算の筆算など基本的な問題はできています。 ○ 折れ線グラフを正しく読み取ることができています。 ● 決められた桁の概数で表すことに課題があります。 ● 角の性質や平面図形の性質の理解が十分にできていません。 ● コンパスを使った作図に課題があります。	・ e ライブラリなどを活用し、個人の苦手な分野を繰り返し練習します。 ・ 角の大きさ、垂直・平行と四角形の復習を行います。 ・ 朝のプリント学習で分度器や三角定規、コンパスを使った問題に力を入れて取り組みます。
川 滝 小	国 語	○ 学習した漢字を正しく読んだり、書いたりできています。 ○ 物語を、叙述に即して読み取れています。 ● 情報の選択や正しく読み取る力が十分身に付いていないようです。 ● 説明文の中心となる語や文を見付ける力が十分身に付いていないようです。	・ 読書活動を継続し、文字のみの本にも親しむ機会を増やしていきます。 ・ 他教科等の中で、情報を選択したり、情報を関連付けて考えたりする力を付けていきます。 ・ 文章全体をよく読んで、大切な言葉や文を見付け、線を引いたり、記述したりしていきます。
	算 数	○ 計算の順序やきまりを正しく理解しています。 ○ 折れ線グラフや角の大きさを正しく読み取れています。 ● 言葉を用いて、正しく図形の説明をする力が十分身に付いていないようです。 ● 図形の応用問題を解く力が、十分身に付いていないようです。	・ 問題文を理解し、問われている箇所を見付けられるよう、繰り返し小テストなどを行います。 ・ いろいろな図形に慣れ親しみ、平面や立体の図形について想像力を高めるために、具体物を使って学習を進めます。 ・ 図形の定義を理解し、説明できるよう図や文字で表現したり、発表したりする練習をしていきます。
妻 鳥 小	国 語	○ 漢字を正しく読むことができる。 ○ 話し手が伝えたいことの、中心を捉えることができています。 ● 調べて分かったことを表現することに課題がある。 ● 条件に合うように文章を書くことが苦手である。	・ 引き続き漢字の定着を図れるよう、スキル学習や家庭学習などで繰り返し学習していきます。また、意味調べの活動を通して、正しい言葉の使い方を学習し、語彙を増やしていきます。 ・ 調べた様々な情報から必要な情報を選び、理由や事例などを挙げながら話す活動を取り入れていきます。 ・ 指定された分量や段落の役割を理解し、文章を書くことができるように、字数を制限し、内容の中心を意識しながら文章を書く活動を取り入れていきます。

妻鳥小	算数	○ 折れ線グラフを正しく読み取ることができる。 ○ わり算の計算において、正しく正答を導くことができる。 ● 垂直・平行の性質や四角形の作図方法の理解が不十分である。 ● 角度を正しく作図したり、測ったりすることに課題がある。	・ グラフを描いたり、読み取ったりする問題を単元の内容に応じて活用したり、他のグラフとも関連させたりしながらグラフに対する理解を高めます。 ・ 計算ドリルや計算プリント等を活用し、基礎的・基本的な計算問題を繰り返し行うことで、計算技能を定着できるようにします。 ・ 実際に作図したり読み取ったりする練習に取り組み、作図方法や図形の性質への理解を高めます。
松柏小	国語	○ 学習した漢字を正確に読むことができる。 ○ 物語文の内容を読み取る力が付いている。 ● 主語と述語の理解が不十分である。 ● 説明文や発表原稿の内容をまとめたり、要約したりすることが苦手である。 ● 指定された条件に合わせて自分の考えを書くことが苦手である。	・ 日々の漢字練習で正しく漢字を書くことができるように繰り返し練習する。 ・ モジュール学習や授業の中で、主語や述語などの言葉の学習に力を入れていく。学習者用端末を活用し、いろいろな問題を解いて定着を図る。 ・ 文章を要約したり、自分の考えを条件に合わせてまとめたりする学習を継続的に取り入れる。
	算数	○ 基本的な計算の技能が身に付いている。 ○ 全体的にどの単元の問題も全国正答率と比べると校内正答率が同じかやや高かった。 ● 概数の範囲の問題が十分に理解できていない。 ● 角の大きさの読み取りや図形の作図、また図形の性質を説明する問題が苦手である。	・ 基礎・基本の計算問題や角度の読み取りなどは、今後も家庭学習や朝のモジュール学習で繰り返し練習する。 ・ 計算の順序や概数、図形の作図など苦手な問題については、授業や家庭学習の中で取り組めるようにする。 ・ 図形の性質などを説明する問題については、復習しながら性質を確認する。また、図形の問題だけではなく、自分の考えを説明する機会を多く設定する。
三島小	国語	○ 第4学年に配当されている漢字を正しく読む力が付いていました。 ○ 話し手が伝えたいことの中心を捉えたり、意見の共通点に着目して話し合いの内容を聞き取ったりすることがよくできていました。 ● 主語と述語の関係、連体修飾語についての理解に課題が見られました。 ● 指定された条件で自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことに課題がありました。	・ 朝のモジュール学習の時間には、引き続き漢字の読みや書き取りの力を高めるとともに、言葉の使い方の力を高めたり、語彙を広げたりすることができるように努めます。 ・ 主語と述語の関係、修飾語などの言葉の学習の復習を丁寧に行っていきます。 ・ 音読や読書の時間を積極的に取り入れ、様々な文章に親しむ機会を増やしていきます。指定された条件の中で、自分の考えや根拠となる理由を示しながら文章を書く練習をしていきます。
	算数	○ 四則混合で（ ）を用いた式の計算順序を理解して解く問題がよくできていました。 ○ 三角定規を組み合わせてできる角の大きさを計算で求める問題の正答率が高かったです。 ● わり算の計算や小数のしくみを理解し、小数を用いて長さの単位換算をする問題の正答率が低かったです。 ● 平行四辺形の作図や垂直な直線を見付けるなど、図形領域の問題の正答率が低かったです。	・ ドリル学習を継続し、基礎的事項の更なる定着を図ります。 ・ わり算の計算の仕方や小数のしくみをもう一度確認し、理解の定着を図ることができるように学年末に復習を行います。 ・ 図形領域の学習では、視覚的にも分かりやすい支援を加えたり、操作活動を取り入れたりしながら、図形の構成の仕方について考察することができるようにします。 ・ 学び合いの場を積極的に取り入れ、計算の仕方などを言葉にして伝え合うことで、数学的に考え表現する力が身に付くように努めます。
中曽根小	国語	○ 教科の正答率は市平均を上回り、全国平均と同程度である。 ○ 理由や事例を明確にして自分の考えを書くことができる。 ○ 話し合いの内容を聞き取ることができる。 ● 説明文において段落相互の関係を捉えることが難しい。 ● 中心となる語や文章を見付けて要約する力に課題がある。 ● 複数の情報を結び付け、理由を明確にして話す力に課題がある。	・ 日々の家庭学習やドリル学習などで、基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ 読書に意欲を持ち、多様な内容の本が読めるような場の設定をする。 ・ 説明文の問題を復習し、段落相互の関係を考える経験を積み重ねる。 ・ 中心となる内容を読み取ったり、大事な言葉を見付けたりする課題に取り組む機会を設ける。 ・ 発表などの機会をとらえて、調べた内容相互の関係を考えたり、簡潔にまとめたりすることを意識させる。

中曾根小	算数	○ 教科の正答率は市平均、全国平均を上回っている。 ○ 基礎的な計算の決まりを理解し、正しく計算する力が身に付いている。 ○ 折れ線グラフについて理解し、正しく読み取ることができる。 ● 問題文の意味を理解し、題意に沿った作図をすることが難しい。 ● 図形の特徴が十分定着していない。	・ 日々の家庭学習やドリル学習などで、基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ ドリルタイムに文章問題の復習をし、式の意味を考えながら立式したり、図を利用して問題を解いたりする経験を積み重ねる。 ・ それぞれの図形の特徴について復習し、自分の言葉で説明する練習をする。 ・ 三角定規やコンパスを使った作図の方法に習熟させる。
中之庄小	国語	○ 話合いの内容を聞き取り、話し手が伝えたいことを正確に捉えることができている。 ○ 中学年で学習している漢字の読みは概ね定着している。 ● 主語や述語、修飾語など文の構成に関する知識が十分に身に付いていない。 ● 記述問題では、条件に従って、内容をまとめることや情報を整理して要約することができていない。	・ 朝ドリルやChromebookを使ったドリル学習を反復して行い、国語に関する知識の定着を図る。 ・ 字数やキーワード、段落などの条件を提示して、文章に分かりやすくまとめる活動を取り入れて、書くことや要約することへの抵抗をなくす手立てを工夫する。その際に、Chromebookを有効活用する。
	算数	○ 小数では、百分の一の位までの小数の足し算や引き算の計算を正確にすることができている。 ○ 折れ線グラフを正しく読むことができる。 ● 億や兆といった大きな数の理解が十分ではない。 ● 分配法を用いた計算や四則混合で（ ）の混じった計算の計算順序など、計算のきまりを用いた計算が苦手な児童が多い。 ● 記述問題では、条件に従って説明することができていない児童が多い。	・ 個別学習や放課後学習を充実させ、一人一人に対するきめ細やかな指導に努める。 ・ プリントやChromebookを使ったドリル学習を反復して行い、基礎的な内容の定着を図る。 ・ ICTを効果的に活用するとともに、体験的な活動を多く取り入れる。 ・ 個の考えやグループ学習での学びを自分の言葉で表し、伝える活動を多く取り入れる。
寒川小	国語	○ 第4学年に配当されている漢字の読みがよくできています。 ○ 自分の考えを説明するための理由や事例を明確にして文章を書く力が身に付いています。 ● 既習の漢字を書くことに課題があります。 ● 主語と述語の関係や修飾語についての理解が十分ではありませんでした。	・ 既習の漢字の小テストを実施し、定着を図ります。 ・ 文集を書く活動の中で、主語や述語などの文法を意識して、文章を書く機会を増やしていきます。 ・ 読書の習慣が身に付くようにし、語彙を増やし、想像する力や文章の内容を読み取る力を高めていきます。
	算数	○ 小数のしくみを理解し、小数の計算の仕方が定着していました。 ○ 対角線の性質を用いて、ひし形を作図する問題がよくできていました。 ● 計算のきまりを使って正しく計算する問題に課題が見られました。 ● 平行四辺形の性質をもとに、できた四角形が平行四辺形であることを説明することに課題が見られました。	・ 家庭学習や授業の隙間時間に、復習プリントをしたり、ドリル型学習ソフトウェアを活用したりして、学習内容を定着させていきます。 ・ 基礎的・基本的な知識を活用して、言葉で説明する力を身に付けるために、キーワードを用いて、説明することを授業の中で取り組んでいきます。
豊岡小	国語	○ 話合いの内容を正しく聞き取るこの問題の正答率が高い。 ○ 学習した漢字を正しく読むこの問題の正答率が高い。 ○ 指定されたルールに合わせて文章を書くことは概ね良好な傾向にある。 ● 漢字辞典を活用することに課題がある。 ● 中心となる語や文を見付けて要約する力が不十分である。 ● 相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話すことに課題がある。 ● 制限時間内に問題を解く力が弱い傾向にある。(テストの後半に無回答が多い。)	・ 授業で漢字ドリル等を活用し、書き取り練習を継続して行う。家庭学習でも、既習の漢字の復習を取り入れ定着を図る。適宜小テストを行い、理解度の確認をする。 ・ 多様なジャンルの本を読むよう支援したり、eスタの記事を読む機会を設けたりして、様々な文章に触れることで、語彙を増やすように努める。分からない言葉や漢字に出合ったときには、辞典で調べるよう支援する。 ・ 新聞の記事を要約して発表したり、自分の知っている知識を付け加えたりしながら話す機会を増やす。 ・ 授業でキーワードを見付け、字数も考えながら要約する活動を取り入れる。 ・ 日記や短作文においてルールを決めて書く機会を取り入れる。

豊岡小	算数	○ 小数のきまりを理解し、正しく処理することの問題の正答率が高い。 ○ 計算のきまりを理解し、四則計算をすることの問題の正答率が高い。 ○ 折れ線グラフを正しく読み取ることは概ね良好な傾向にある。 ● 目的に合わせて数进行处理することの理解が不十分である。(概数) ● 分度器を使って角の大きさを読み取ることに課題がある。 ● 方眼を使って、垂直な直線を見付けることの正答率が低い。 ● 平行四辺形の性質を理解し、正しく作図することに課題がある。	・ 学習内容を効率的に復習できるように、タブレットを用いたドリル学習を活用していく。 ・ 放課後に補充学習を行うなどして、個に合わせた指導を充実させ、学力の底上げを図る。 ・ 児童同士で教え合うなど、学び合う場を意識的に設定し、解き方の説明ができるようにする。 ・ 授業での復習の時間に角度、垂直と平行、図形、概数を取り扱った問題に多く取り組ませる。また、家庭学習でも復習したことが定着するように問題に取り組ませる。 ・ 反復学習の積み上げにより、基礎的・基本的な力を確実に定着させるとともに、図形や分度器の活用など、操作活動の定着を図る。
新宮小	国語	○ 平均正答率は、全国、市平均を上回っており、学習内容が定着しています。 ○ 漢字の読み書きなど言語の知識が身に付いています。 ○ 物語文では、登場人物の気持ちや様子について文章から読み取ることができています。 ● 説明文において、中心となる語や文を見付けて要約する問題が平均を下回っています。 ● 指定された長さで文を書くことに課題が見られます。	・ 漢字練習について、授業でのミニテストや空書きテストを継続して行い、言葉の習得をしていきます。 ・ 説明文を読み、段落相互の関係や、筆者の考え等を読み取る活動を取り入れていきます。 ・ 作文の課題など、文を書く活動を通して文字数を意識した活動を取り入れていきます。
	算数	○ 平均正答率は、全国、市平均を上回っており、学習内容が定着しています。 ○ わり算の計算の技能が身に付いています。 ○ 億や兆と言った大きい数の表し方、概数の表し方がよく身に付いています。 ● 図形領域において作図をしたり、性質を説明したりすることに課題があります。	・ 授業の最初に前時の復習を取り入れ学習内容の定着を図ります。 ・ 計算問題はより正確に解くことを意識し、取り組んでいきます。 ・ 図形学習では図形の性質を理解し、作図の練習を小テストやプリントで行っていきます。
長津小	国語	○ 聞き取りでは、正しく問題の内容を聞き取ることができています。 ○ 第4学年で学んだ漢字を正しく読むことができています。 ● 第3学年で学んだ漢字を正しく書くことに課題があります。 ● 説明文の内容を正しく読み取ることが苦手です。また、中心となる語句や文を見付け、要約して文章を書くことに課題が見られます。	・ 漢字スキルやプリントを活用し、日々の漢字の習熟に努めます。今まで学習した漢字の振り返りに力を入れ、指導していきます。 ・ 語彙を豊かにしたり、読むことに慣れたりするために、国語辞典の積極的な活用や読書活動を続けていきます。 ・ 説明文や物語文など、長い文章を正しく読むことができるように、文章問題のプリントを活用し、読むことへの抵抗感を少なくしていきます。また、学習の振り返り活動を通して、文章を書くことへの抵抗も少なくしていきます。
	算数	○ 小数の仕組みについてよく理解しています。 ○ 計算のきまりを理解し、正しい順番で計算することができています。 ● 図形やグラフに関する問題が苦手です。 ● わり算の筆算に課題が見られます。	・ プリント学習や学習支援アプリを効果的に活用し、基礎理解の定着を図っていきます。 ・ 図形の学習では、実際に図形を描いたり、形を作ったりして具体物を用いて学習を進めます。 ・ 定期的に復習する時間をとることで、学習の定着を図っていきます。
小富士小	国語	○ 話合いの内容を正確に聞き取り、話し手の伝えたいことや話し手の表現の工夫を捉えることができています。 ○ 物語文や説明文の内容を読み取り、叙述を基に文章の内容を捉えることができています。 ● 既習の漢字を正しく書く問題の正答率が低かった。 ● 指定された長さで文章を書いたり、自分の考えを明確にして文章を書いたりする問題の正答率が低かった。	・ 漢字を書く力を定着させるには、普段から漢字を使って書く習慣を付ける必要がある。ノートや計画帳などを書く際にも、漢字を意識して使うよう指導を続ける。 ・ 問題に示されている条件に沿って書く力を身に付ける必要がある。そのために、自分の考えを書いたり、理由を考えて答えたりする学習活動を各教科で積極的に取り入れる。また、学習活動の中で、文字数や自分の考え、キーワードなど、指定された条件で文章を書く活動を繰り返す行う。

小富士小	算数	○ 四則計算のきまりを理解し、正確に計算することができている。 ○ 分度器を用いて角の大きさを読み取ったり、三角定規を組み合わせてできる角の大きさを計算で求めたりする問題の正答率が高かった。 ● 図形の性質を用いて、平行四辺形やひし形を作図する問題の正答率が低かった。 ● 計算の仕方や考え方を説明する問題の正答率が低かった。	・ 文章問題の意図を捉え、筋道を立てて考え、図や言葉を使って説明する力を身に付ける必要がある。普段の学習活動の中で、考え方を図や言葉、式を用いて説明する活動を積極的に取り入れる。また、クロームブックを活用して練習問題に取り組み、多様な形式の問題に慣れることができるようにする。 ・ 平行四辺形やひし形など既習の図形の性質を復習し、その性質を利用した図形の作図ができるよう復習し、定着させる。
北小	国語	○ 話合いの様子を聞き、その内容をつかむことができている。 ○ 決められた条件に沿って、短い文を書くことができている。 ● 漢字を正しく書くことに課題が見られます。 ● 説明文の内容を正しく読み取る力が不足しています。	・ 漢字の書き取りの課題に毎日取り組み、学習した漢字を正しく使うことができるようにします。また、過去に学習した漢字についても、学期ごとにまとめのプリントを活用し、復習ができるようにします。 ・ スキルタイムに、引き続き短い説明文を繰り返し解く学習活動を行い、読解力を向上させていきます。
	算数	○ 折れ線グラフの縦軸・横軸が示す数値を理解しており、グラフから分かることを正しく選択して答えることができている。 ○ 簡単な割合の原理について、比べる量が基にする量の何倍に当たるかを考えることができている。 ● 垂直・平行の意味と、様々な四角形の持つ特徴についての理解に課題が見られます。 ● 小数の位取りと、数の集合についての理解が不足しています。	・ 学期末の学習のまとめでは、垂直・平行の意味と様々な四角形の持つ特徴(角度・平行・対角線の交わり)についての復習を行います。 ・ また、小数の位取り(掛け算・割り算・数の集合)や小数を含んだ計算練習についても、復習を行います。 ・ 学習の中で、聞いて理解するのではなく、互いに伝え合うことで、分かっていることとそうでないことを明らかにします。このような学習の機会を増やし、知識を定着させていきます。 ・ つまずきが見られた箇所についての個別指導を引き続き行います。
土居小	国語	○ 既習の漢字の読み書きに関する正答率がやや高い。 ○ 話合いの内容を聞き、意見の共通点に着目する問題についての正答率が高い。 ● 物語の内容について叙述を基に捉え、答える問題の正答率が低い。 ● 情報と情報との関係について理解し、理由や事例を挙げながら話すことの正答率が低い。 ● 自分の考えを明確にし、指定された長さで書くことに課題がある。	・ 日々の授業の中で書く活動を取り入れ、書くことに対する苦手意識を軽減できるように授業改善を行う。 ・ 文章を読み取る際、線引き学習をして中心となる語や文を見付けて内容を捉える学習をする。 ・ スピーチや発表の際に、理由や条件を付けて話す活動を積極的に取り入れる。 ・ 普段から話し手に体を向け、耳だけでなく、目や心でも話を聞くことを徹底し、伝え合う力を育てていく。
	算数	○ 計算のきまりを使って、()のある式の計算について、理解している。 ○ 折れ線グラフを正しく読み取る問題についての正答率が高い。 ● 概数について理解し、対応する数の範囲を表すことについての正答率が低い。 ● 平行四辺形の作図や性質を求める問題の正答率が低い。	・ 概数の表し方や範囲に関する内容を家庭学習に取り入れる。 ・ 三角形・四角形の特徴の復習を行い、これらの特徴を踏まえて、作図ができるように操作活動を行う。 ・ 朝のドリルタイムの積み上げやeライブラリ等のドリル教材による反復練習の継続により、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
関川小	国語	○ 話合いの内容を聞き取って理解できている。 ○ 第4学年に配当されている漢字を正しく読むことができている。 ● 主語と述語の関係について理解することや文章から必要な事柄を挙げながら書くこと、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。	・ ドリル型学習ソフトを活用し、主語や述語、修飾語の関係について理解を深められるようにする。 ・ フォローアップシートを活用し、読解力を高めたり説明文の問題に慣れたりする。 ・ 書く時間やテーマを決めて文章を書く活動を定期的に取り入れる。
	算数	○ 三角定規を組み合わせてできる角の大きさを計算で求めることができている。 ○ 示された考えを基にして説明することができている。 ● 一億を超える数を数字で正しく書くことに課題がある。 ● 四角形において、平行四辺形の性質を理解して、作図をしたり、平行四辺形であることを説明したりすることに課題がある。 ● 垂直な関係を見付け出すことに課題がある。	・ 教科書で学習したことを中心に基礎的な問題の反復練習を行う。 ・ 三角定規やコンパス、分度器の使い方を復習し、垂直や平行な直線、平行四辺形などを作図する活動を取り入れるようにする。 ・ 問題文から分かることや問われていることに線を引くなどし、問題の内容の整理ができるようにする。 ・ 「まず」「次に」「最後に」などの言葉を使って、問題の解き方を言葉と式で説明する機会を増やす。